

2021年度 決算情報(IFRS)

2022年5月13日

三菱ケミカルホールディングスグループ
医薬品事業

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提を
おいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がござい
ますので、ご了承ください。

医薬品(開発品を含む)に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイ
スを目的とするものではありません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ケミカルホールディングスグループ
コーポレートコミュニケーション本部 IR部
TEL 03-6748-7120

目次

1	2021年度 決算の概要	
	1. 2021年度 業績サマリー 2. 2022年度 業績予想サマリー	2
2	2021年度 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績	3
	② 主要製品売上収益	3
	2. 財務状況	4
	① 資産・負債・資本の状況	4
	② キャッシュ・フロー計算書	4
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費および償却費	4
3	2022年度 業績予想について	
	① 損益予想	5
	② 主要製品売上収益予想	5
4	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	6
	② 主要製品売上収益	7
5	5カ年連結財務数値	
	① 損益計算書 ② 財政状態計算書 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	8
6	新製品開発状況について(2022年4月25日現在)	
	① 中枢神経 ② 免疫炎症	9
	③ ワクチン ④ その他	10
	2021年度第3四半期決算からの変更点	11

1 2021年度 決算の概要

(億円未満四捨五入)

<ジレニア ロイヤリティについて>

当社は、Novartis Pharma AG(以下「ノバルティス社」との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分につきましては、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」が定める収益認識基準の要件を満たさなくなったため、売上収益の認識を行っておりません。また、仲裁手続き中は同様の会計処理を継続することとしており、2022年度業績予想につきましても、仲裁手続きが継続していることを見込んで策定しております。

当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

なお、「ジレニア ロイヤリティ」について売上収益の認識を行わない部分につきましては、仲裁最終時に、その結果に応じて一括して収益認識されることとなります。

1. 2021年度 業績サマリー

売上収益	3,859 億円	前期比	81 億円	2.2 %
○国内	3,182 億円	前期比	52 億円	1.7 %
○海外	677 億円	前期比	29 億円	4.5 %

国内医療用医薬品は、2021年4月の薬価改定の影響や、ワクチンの減収があったものの、乾癬・クローン病・潰瘍性大腸炎の治療剤「ステララー」、関節リウマチなどの治療剤「シンボニー」、2型糖尿病治療剤「カナグル」、「カナリア」が順調に伸長し、前期比1.6%増収の3,095億円となりました。

海外医療用医薬品は、ALS治療剤「ラジカヴァ」などが伸長し、前期比11.1%増収の558億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、前期比16.2%減収の133億円となりました。

コア営業利益 ^{(注1)(注2)}	△ 30 億円	前期比	△ 240 億円	- %
----------------------------	---------	-----	----------	-----

メディカゴ社が開発を進めている新型コロナウイルスワクチンやニューロダーム社が開発を進めているパーキンソン病の治療薬など、複数のグローバル後期臨床試験が同時進行したことに加え円安の影響もあり、研究開発費が一時的に増大し、コア営業利益は前期比240億円減益、30億円の損失となりました。

営業利益 ^(注2)	△ 157 億円	前期比	429 億円	- %
----------------------	----------	-----	--------	-----

非経常項目は、変形性関節症治療薬 (MT-5547)について事業環境の変化を受けて事業計画を見直した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったため製品に係る無形資産の減損損失を158億円計上しました。また、加島事業所の譲渡などの固定資産売却益52億円を計上しました。この結果、営業損益は157億円の損失となりました。

なお、前期はニューロダーム社が開発を進めているパーキンソン病の治療薬について、製品に係る無形資産の減損損失を845億円、戸田事業所の譲渡などの固定資産売却益81億円を計上し、営業損益は585億円の損失でした。

親会社の所有者に 帰属する当期利益 ^(注2)	△ 102 億円	前期比	367 億円	- %
--------------------------------------	----------	-----	--------	-----

2. 2022年度 業績予想サマリー

売上収益	4,095 億円	前期比	236 億円	6.1 %
コア営業利益	180 億円	前期比	210 億円	- %
営業利益	180 億円	前期比	337 億円	- %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	95 億円	前期比	197 億円	- %

国内医療用医薬品は重点品が伸長するものの、薬価改定影響により減収となる見通しです。一方、海外においてMT-1186の上市やメディカゴ社・新型コロナウイルスワクチンの実用化を見込み、売上収益全体では増収を予想しております。

増収に加え、新型コロナウイルスワクチンの実用化等により研究開発費の減少を見込んでおり、コア営業利益、営業利益並びに親会社の所有者に帰属する当期利益は増益となる見通しです。

(注1) 当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業損益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目として、事業譲渡による損益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等であります。

(注2) 損失の場合に△表示しております。

2 2021年度 連結決算について

(億円未満四捨五入)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

2021年度	前期比較			予想比較			主なポイント (前期比較)	
	2020年度	増減額	増減率%	通期予想 2021/11/2 公表	増減額	増減率%		
売上収益	3,859	3,778	81	2.2	3,980	△ 121	△ 3.0	「②主要製品売上収益」参照
国内	3,182	3,130	52	1.7	3,070	112	3.7	
海外	677	648	29	4.5	910	△ 233	△ 25.6	
海外売上比率	17.5%	17.1%			22.9%			
売上原価	1,947	1,904	43	2.3	1,950	△ 3	△ 0.2	
売上原価率	50.4%	50.4%			49.0%			
売上総利益	1,912	1,874	38	2.1	2,030	△ 118	△ 5.8	
販管費等	1,942	1,664	279	16.8	1,865	77	4.1	
研究開発費	969	726	243	33.5	905	64	7.0	主にグローバル開発品の臨床試験費用増加
コア営業利益(注1)	△ 30	210	△ 240	-	165	△ 195	-	
非経常項目(注1)	△ 127	△ 796	669	-	30	△ 157	-	当期)MT-5547の製品に係る無形資産減損損失158億円ほか 前期)ニューロゲームの製品に係る無形資産減損損失845億円ほか
営業利益(注1)	△ 157	△ 585	429	-	195	△ 352	-	
親会社の所有者に帰属する当期利益(注1)	△ 102	△ 469	367	-	105	△ 207	-	

為替レート (単位:円)

	2021年度 平均レート	2020年度 平均レート	2021年度 想定レート
米ドル	113.04	105.94	110.00

* 当期において、為替レートの変動により、売上収益で約+46億円、コア営業利益で約△72億円の影響がありました。

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

2021年度	前期比較			予想比較			
	2020年度	増減額	増減率%	通期予想 2021/11/2 公表	増減額	増減率%	
国内医療用医薬品	3,095	3,047	49	1.6	2,976	120	4.0
重点品	1,621	1,377	244	17.7	1,538	82	5.4
ステララ	515	322	193	59.9	464	51	11.1
シンボニー	433	423	10	2.4	425	8	2.0
テネリア	152	151	1	0.6	148	3	2.3
カナグル	113	103	10	9.5	108	5	4.5
カナリア	104	97	7	6.8	95	9	9.1
パフセオ	10	3	7	193.0	11	△ 1	△ 5.6
レクサプロ	154	153	0	0.3	147	7	4.6
ユプリズナ	13	-	13	-	12	1	5.7
ルバフィン	88	82	7	8.0	91	△ 3	△ 3.2
イムセラ	38	41	△ 3	△ 6.6	36	2	5.2
ワクチン	335	426	△ 91	△ 21.4	363	△ 28	△ 7.7
インフルエンザ	104	144	△ 40	△ 27.5	135	△ 30	△ 22.5
テトラビック	104	109	△ 6	△ 5.3	105	△ 1	△ 1.3
ミールビック	54	61	△ 8	△ 12.4	53	0	0.9
水痘ワクチン	46	50	△ 4	△ 7.6	43	3	7.4
ジェービックV	16	52	△ 35	△ 68.2	16	0	0.2
長期収載品等	1,140	1,244	△ 104	△ 8.4	1,075	65	6.1
レミケード	400	454	△ 54	△ 11.9	382	17	4.5
海外医療用医薬品	558	502	56	11.1	792	△ 234	△ 29.6
ラジカヴァ	246	220	26	12.0	224	22	9.6
ロイヤリティ収入等	133	159	△ 26	△ 16.2	132	1	1.0
インヴォカナ ロイヤリティ	64	91	△ 27	△ 29.4	非開示	-	-
ジレニア ロイヤリティ(注2)	36	43	△ 8	△ 17.6	非開示	-	-

(注1) 費用・損失の場合に△表示しております。

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

2. 財務状況

① 資産・負債・資本の状況

(単位:億円)

	2021年度末	2020年度末	増減額	主なポイント
資産	10,597	10,533	64	
非流動資産	3,825	3,784	41	
有形固定資産	872	821	51	取得+138億円、減価償却△101億円ほか
のれん	923	906	17	
無形資産	828	911	△ 83	MT-5547の製品に係る無形資産の減損△158億円ほか
流動資産	6,771	6,748	23	
棚卸資産	857	817	40	
営業債権	1,150	1,160	△ 10	
その他の金融資産	3,269	3,301	△ 32	
現金及び現金同等物	1,292	1,142	150	「②キャッシュ・フロー計算書」参照
負債	2,628	2,364	264	
非流動負債	1,381	1,086	296	
その他の非流動負債	1,068	775	293	
流動負債	1,247	1,278	△ 31	
営業債務	359	295	64	
資本	7,969	8,169	△ 200	
資本金	500	500	-	
資本剰余金	4,399	4,480	△ 81	
利益剰余金	2,938	3,133	△ 195	当期利益△102億円ほか

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2021年度	2020年度	増減額
現金及び現金同等物期首残高	1,142	831	312
営業キャッシュ・フロー	276	678	△ 401
税引前利益(△は損失)	△ 148	△ 577	429
減価償却費及び償却費	139	152	△ 12
減損損失	170	884	△ 714
有形固定資産売却損益(△は益)	△ 52	△ 81	29
営業債権債務の増減額	75	△ 98	173
投資キャッシュ・フロー	33	△ 319	351
有形固定資産の取得・売却	48	△ 31	79
投資の取得・売却及び償還	56	641	△ 585
預け金の預入による支出	△ 4	△ 952	948
財務キャッシュ・フロー	△ 204	△ 72	△ 132
為替変動による影響	45	25	21
現金及び現金同等物の増減額	150	312	△ 162
現金及び現金同等物期末残高	1,292	1,142	150

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2021年度	2020年度	増減額
設備投資額／発生ベース	138	186	△ 48
システム投資額／発生ベース	15	14	2

④ 減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2021年度	2020年度	増減額
有形固定資産	101	111	△ 9
無形資産(製品に係るものを除く)	13	12	1
製品に係る無形資産	25	28	△ 4

3 2022年度 業績予想について

(億円未満四捨五入)

① 損益予想

(単位:億円)

	2022年度予想	前期比較			主なポイント(前期比較)
		2021年度実績	増減額	増減率%	
売上収益	4,095	3,859	236	6.1	「②主要製品売上収益予想」参照
国内	3,196	3,182	14	0.4	
海外	899	677	222	32.8	
海外売上比率	22.0%	17.5%			
売上原価	2,130	1,947	183	9.4	
売上原価率	52.0%	50.4%			
売上総利益	1,965	1,912	53	2.7	
販管費等	1,785	1,942	△ 157	△ 8.1	新製品の発売に伴う増加など
研究開発費	785	969	△ 184	△ 19.0	新型コロナウイルスワクチンの実用化に伴う臨床試験費用の減少など
コア営業利益	180	△ 30	210	-	
非経常項目(注1)	-	△ 127	127	-	
営業利益(注1)	180	△ 157	337	-	
親会社の所有者に 帰属する当期利益(注1)	95	△ 102	197	-	

為替レート

(単位:円)

	2022年度 想定レート	2021年度 平均レート
米ドル	125.00	113.04

② 主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2022年度予想	前期比較		
		2021年度実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	3,086	3,095	△ 9	△ 0.3
重点品	1,743	1,582	161	10.2
ステララ	646	515	131	25.5
シンボニー	427	433	△ 7	△ 1.6
テネリア	143	152	△ 8	△ 5.5
カナグル	130	113	17	14.9
カナリア	105	104	1	1.0
バフセオ	31	10	21	207.8
レクサプロ	130	154	△ 24	△ 15.7
ユプリズナ	32	13	19	147.3
ルバフィン	99	88	11	12.3
ワクチン	428	335	93	27.8
インフルエンザ	145	104	41	39.3
テトラビック	100	104	△ 4	△ 3.5
ジェービックV	63	16	46	279.9
ミールビック	62	54	9	16.2
水痘ワクチン	45	46	△ 0	△ 1.0
長期収載品等	915	1,178	△ 263	△ 22.3
レミケード	312	400	△ 87	△ 21.9
海外医療用医薬品	811	558	253	45.4
ラジカヴァ	270	246	24	9.7
ロイヤリティ収入等	102	133	△ 31	△ 23.6
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	64	-	-
ジレニア ロイヤリティ(注2)	非開示	36	-	-

(注1) 費用・損失の場合に△表示しております。

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

4 四半期業績の推移

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2020年度					2021年度				
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績
売上収益	918 24.3%	955 25.3%	1,029 27.2%	876 23.2%	3,778 100.0%	954 24.7%	956 24.8%	1,089 28.2%	861 22.3%	3,859 100.0%
国内	757 24.2%	793 25.3%	867 27.7%	713 22.8%	3,130 100.0%	770 24.2%	790 24.8%	924 29.0%	699 22.0%	3,182 100.0%
海外	161 24.8%	162 25.1%	161 24.9%	163 25.2%	648 100.0%	184 27.2%	166 24.5%	165 24.4%	162 23.9%	677 100.0%
売上原価	456	492	524	432	1,904	476	492	548	430	1,947
売上原価率	49.7%	51.6%	50.9%	49.3%	50.4%	49.9%	51.4%	50.4%	50.0%	50.4%
売上総利益	462 24.7%	463 24.7%	505 26.9%	444 23.7%	1,874 100.0%	477 25.0%	464 24.3%	541 28.3%	430 22.5%	1,912 100.0%
販管費等	366 22.0%	413 24.8%	403 24.2%	481 28.9%	1,664 100.0%	419 21.6%	496 25.5%	496 25.5%	532 27.4%	1,942 100.0%
研究開発費	153 21.1%	186 25.6%	164 22.6%	223 30.7%	726 100.0%	188 19.4%	264 27.2%	250 25.8%	267 27.6%	969 100.0%
コア営業利益(注)	96 45.5%	50 23.7%	102 48.4%	△ 37 △ 17.6%	210 100.0%	58 -	△ 32 -	45 -	△ 101 -	△ 30 -
営業利益(注)	177 -	△ 796 -	72 -	△ 38 -	△ 585 -	58 -	△ 48 -	95 -	△ 262 -	△ 157 -
親会社の所有者に 帰属する当期 (四半期)利益(注)	115 -	△ 624 -	56 -	△ 16 -	△ 469 -	31 -	△ 45 -	76 -	△ 163 -	△ 102 -

* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注) 費用・損失の場合に△表示にしております。

② 主要製品売上収益

(単位: 億円)

	2020年度					2021年度				
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績
国内医療用医薬品	733 24.0%	770 25.3%	847 27.8%	697 22.9%	3,047 100.0%	745 24.1%	769 24.9%	899 29.0%	682 22.0%	3,095 100.0%
重点品	334 24.3%	330 24.0%	373 27.1%	339 24.7%	1,377 100.0%	389 24.0%	381 23.5%	474 29.2%	377 23.2%	1,621 100.0%
ステラール	70 21.6%	70 21.7%	91 28.1%	92 28.6%	322 100.0%	114 22.1%	117 22.8%	158 30.7%	126 24.4%	515 100.0%
シンボニー	107 25.2%	105 24.9%	115 27.3%	96 22.7%	423 100.0%	111 25.6%	106 24.4%	121 28.0%	95 22.0%	433 100.0%
テネリア	41 27.2%	39 25.6%	39 25.6%	33 21.6%	151 100.0%	38 25.3%	40 26.1%	47 31.2%	26 17.4%	152 100.0%
カナグル	25 24.6%	25 24.3%	30 28.6%	23 22.5%	103 100.0%	30 26.5%	27 23.6%	32 28.1%	25 21.7%	113 100.0%
カナリア	25 26.1%	25 25.4%	25 25.4%	22 23.1%	97 100.0%	25 23.8%	24 23.3%	29 27.9%	26 25.0%	104 100.0%
バフセオ	- -	3 88.1%	0 7.3%	0 4.7%	3 100.0%	1 7.9%	3 25.7%	4 35.8%	3 30.6%	10 100.0%
レクサプロ	39 25.3%	37 24.4%	42 27.7%	35 22.6%	153 100.0%	39 25.7%	37 23.9%	43 27.8%	35 22.7%	154 100.0%
ユプリズナ	- -	- -	- -	- -	- -	1 9.6%	2 13.7%	6 45.2%	4 31.5%	13 100.0%
ルパフィン	17 20.4%	16 19.0%	20 24.4%	30 36.2%	82 100.0%	19 21.2%	17 19.5%	23 26.6%	29 32.8%	88 100.0%
イムセラ	11 26.8%	10 25.3%	11 27.1%	9 20.9%	41 100.0%	11 28.2%	9 24.6%	10 27.3%	8 19.9%	38 100.0%
ワクチン	75 17.6%	136 31.9%	148 34.8%	67 15.6%	426 100.0%	62 18.6%	110 32.7%	113 33.7%	50 15.0%	335 100.0%
インフルエンザ	△ 0 △ 0.2%	64 44.1%	75 52.0%	6 4.1%	144 100.0%	△ 0 △ 0.0%	55 53.0%	52 49.4%	△ 2 △ 2.4%	104 100.0%
テトラビック	27 24.5%	25 22.6%	30 27.7%	28 25.3%	109 100.0%	26 24.9%	24 22.9%	29 27.8%	25 24.4%	104 100.0%
ミールビック	19 30.9%	18 29.5%	14 22.2%	11 17.3%	61 100.0%	19 34.9%	12 22.8%	12 23.0%	10 19.3%	54 100.0%
水痘ワクチン	13 25.5%	12 24.8%	13 26.1%	12 23.6%	50 100.0%	11 24.4%	11 23.7%	14 29.7%	10 22.2%	46 100.0%
ジェービックV	14 27.9%	15 28.4%	14 27.5%	8 16.1%	52 100.0%	3 21.1%	4 22.0%	5 27.7%	5 29.3%	16 100.0%
長期収載品等	323 26.0%	304 24.5%	326 26.2%	291 23.4%	1,244 100.0%	294 25.8%	279 24.4%	312 27.4%	255 22.4%	1,140 100.0%
レミケード	119 26.2%	115 25.4%	121 26.6%	99 21.7%	454 100.0%	104 26.1%	100 25.0%	109 27.2%	87 21.7%	400 100.0%
海外医療用医薬品	126 25.2%	125 24.9%	119 23.7%	132 26.3%	502 100.0%	144 25.8%	136 24.4%	141 25.2%	137 24.6%	558 100.0%
ラジカヴァ	56 25.4%	55 25.0%	49 22.1%	60 27.4%	220 100.0%	63 25.8%	61 24.7%	65 26.4%	57 23.1%	246 100.0%
ロイヤリティ収入等	38 23.6%	41 25.6%	46 29.0%	35 21.8%	159 100.0%	43 32.6%	33 24.6%	29 21.8%	28 21.0%	133 100.0%
インヴォカナ ロイヤリティ	20 22.5%	25 27.8%	28 31.2%	17 18.6%	91 100.0%	19 29.0%	16 24.3%	14 22.4%	16 24.4%	64 100.0%
ジレニア ロイヤリティ(注)	11 24.5%	9 20.5%	12 26.8%	12 28.1%	43 100.0%	11 30.5%	11 29.8%	8 21.8%	6 18.0%	36 100.0%

* 各項目の下段は進捗率を表示

(注) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

5 5カ年連結財務数値

(億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 予想
売上収益	4,339	4,248	3,798	3,778	3,859	4,095
売上原価	1,698	1,806	1,810	1,904	1,947	2,130
売上総利益	2,641	2,441	1,988	1,874	1,912	1,965
販管費等	1,856	1,883	1,797	1,664	1,942	1,785
研究開発費	791	865	794	726	969	785
コア営業利益	785	558	191	210	△ 30	180
営業利益	773	503	△ 61	△ 585	△ 157	180
親会社の所有者に帰属する当期利益	580	374	1	△ 469	△ 102	95

② 財政状態計算書

(単位:億円)

	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	2021年度末
資産	10,484	10,563	10,463	10,533	10,597
非流動資産	4,629	4,679	4,528	3,784	3,825
流動資産	5,855	5,884	5,935	6,748	6,771
負債	1,536	1,460	1,884	2,364	2,628
非流動負債	554	543	903	1,086	1,381
流動負債	982	917	980	1,278	1,247
資本	8,948	9,103	8,579	8,169	7,969

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
営業キャッシュ・フロー	669	415	494	678	276
投資キャッシュ・フロー	△ 192	△ 312	△ 392	△ 319	33
財務キャッシュ・フロー	△ 325	△ 259	△ 379	△ 72	△ 204
設備投資	62	86	155	200	153
減価償却費および償却費	115	115	109	152	139
有形	76	71	70	111	101
無形(製品に係るものを含む)	40	44	40	41	38
親会社所有者帰属持分比率(%)	84.2	85.0	81.4	76.9	74.5
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	6.6	4.2	0.0	△ 5.6	△ 1.3
基本的1株当たり当期利益(円)	103.35	66.64	0.26	△ 83.58	△ 18.24
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,574.26	1,600.64	1,519.22	1,443.99	1,407.51

④ 従業員数

(単位:人)

	2017年度末	2018年度末	2019年度末	2020年度末	2021年度末
連結	7,187	7,228	6,987	6,728	6,697
単体	4,222	4,111	3,764	3,383	3,268

6 新製品開発状況について(2022年4月25日現在)

① 中枢神経

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (双極性障害)	アジア 申請	ゲデオンヒター(ハンガリー)から導入
MT-0551 ユプリズナ (イネピリズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (視神経脊髄炎スペクトラム障害: NMOSD)	アジア 申請	ホライゾン・セラピューティクス (アイルランド)から導入
	(重症筋無力症)	日本 フェーズ 3	ホライゾン・セラピューティクス (アイルランド)から導入、 共同開発(グローバル試験実施中)
MT-5199 ジスバル (バルベナジントシル酸塩)	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	アジア 申請	ニューロクライン バイオサイエンシズ(米)から導入
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	米国 申請* (2022年1月)	自社創製品
		日本 申請* (2022年3月)	
MT-210	セロニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンシズ(米) へ導出
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
MT-8554	TRPM8遮断剤 (末梢性神経障害性疼痛)	日本 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	グローバル フェーズ 2	
MT-3921	抗RGMa抗体 (脊髄損傷)	グローバル フェーズ 2	大阪大学(日)と共同開発

* 米国、日本等で承認申請(他の国の開発段階はフェーズ 3)

② 免疫炎症

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-5547 (ファシヌマブ)	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-7117 (デルシメラゴン)	選択的メラノコルチン1受容体作動剤 (赤芽球性プロトポルフィリン症、X連鎖性プロト ポルフィリン症)	グローバル フェーズ 3	自社創製品
	(全身性強皮症)	グローバル フェーズ 2	
MT-0551 ユプリズナ (イネピリズマブ)	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤 (IgG4関連疾患)	日本 フェーズ 3	ホライゾン・セラピューティクス (アイルランド)から導入、 共同開発(グローバル試験実施中)
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33) モノクローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品

※ アジア: 日本・中国を除く

③ ワクチン

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性 灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 申請 (2022年4月)	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2766	植物由来VLPワクチン (新型コロナウイルス感染症の予防)	グローバル フェーズ 3*	メディカゴ(カナダ)品
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-2654	アジュバント添加植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/高齢者)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品

* カナダで承認(他の国の開発段階はフェーズ 3)

④ その他

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MP-513 テネリア (テネリグリプチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病を伴う慢性腎臓病)	日本 申請 (2021年8月)	自社創製品
MT-6548 バフセオ (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	アジア 申請	アケビア(米)から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (二次性副甲状腺機能亢進症)	中国、アジア フェーズ 3	協和キリン(日) へ導出
MT-2765	レニン阻害剤 (高血圧症)	中国 フェーズ 3	上海医薬集団(中)へ導出
MT-8633/TR1801-ADC	抗c-Met抗体薬物複合体 (固形がん)	フェーズ 1	自社創製品 Open Innovation Partners(日)と協業

※ アジア: 日本・中国を除く

2021年度第3四半期決算からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2022年4月25日 現在	起源/導出先等
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (双極性障害)	アジア 申請	タイ 承認 (2022年2月)	ゲデオンヒター(ハンガリー) から導入
MT-5199 ジスバル (バルベナジントシル酸塩)	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 申請 (2021年4月)	日本 承認 (2022年3月)	ニューロクライン バイオサイエンシズ(米)から 導入
MT-2766	植物由来VLPワクチン (新型コロナウイルス感染症の予防)	カナダ 申請 (2021年12月)	カナダ 承認* (2022年2月)	メディカゴ(カナダ)品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	米国 申請 (2022年1月)	米国 申請** (2022年1月) 日本 申請** (2022年3月)	自社創製品
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	日本 申請 (2022年4月)	阪大微生物病研究会(日)と 共同開発

* カナダで承認(他の国の開発段階はフェーズ 3)

** 米国、日本等で承認申請(他の国の開発段階はフェーズ 3)

※ アジア: 日本・中国を除く